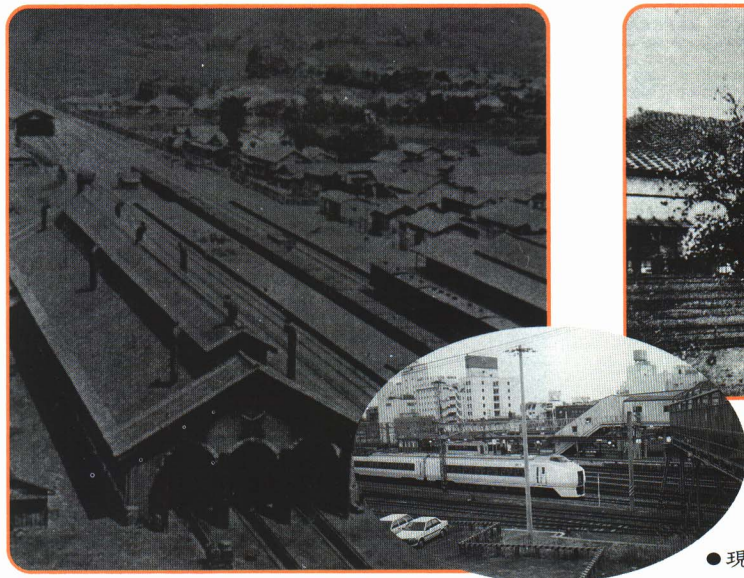


(2) 暮らしのうつりかわり

● 鉄道がしかれたころ (およそ100年前のころ)

19-1 鉄道がしかれたころのいわき駅



●明治30年に平駅とせんろができ、はじめて汽車が走りました。当時は、どんな乗りものがあったのでしょうか。

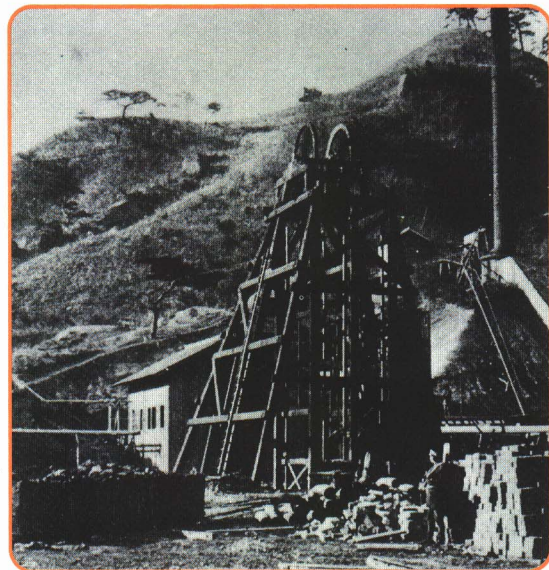
19-2 まちやくば 町役場 (平)



●明治16年、当時の平町の人口は9,000人でした。
(現在の平地区の人口は約9万人)

●現在のいわき駅のようす。

19-3 炭鉱のようす (内郷)



●このころからさかんに炭鉱がほられ、全国でも有名な石炭産地となりました。石炭を原料にした工場も、次々にたてられました。

19-4 当時の運動会のようす



●はかますがたで玉入れをしています。今と比べて、服そうや髪型、食事などは、どんなものだったのでしょうか。